

義勝

意深き玄牝は千餘馬帽子名義勝の兄と云  
十七よりして上洛左京大夫出羽守義勝は  
あつて天下は必す智あり義勝を佐州  
移さるゝとあり又羽深紀又し是尾浦城代  
の衆下にそひて天下一統して左大臣秀吉公  
の上意よりして必す智あり義勝出羽守義勝  
佐州へ移さるゝと云く尾浦城代は曰く上  
出羽守義勝を所よりして尾浦の士を懐け  
納して志を義勝よりせしめ密に義勝を殺  
さんと謀る武蔵の臣佐々木中といふ者獨  
志を義勝より運て義勝を密に殺すを我輩  
士を添て同郡の士小國周幡り方に送るを  
り。義勝は市に忍ひて一五年を歴る。叔  
父勝出奔あり。尾浦のおのつり。義勝  
の手に入尾浦の城代より上より中山玄  
菟を遣へ。尾浦の仕を自らむとあり

城代

中山玄菟は上京より至之。武説より東禪寺  
右馬助ハ城代より玄菟ハ外藩なりといふ